

カイコの一生と飼育上の留意点



2020年5月～7月

カイコの一生

① 毛蚕(けご) 蟻蚕(ぎさん) 0日目



② 2令虫 12日目



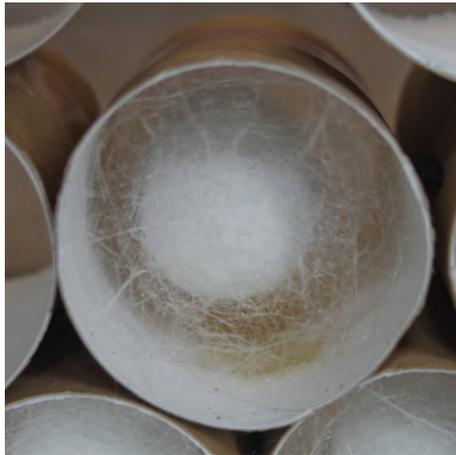
③ 3~4令虫 18日目



④ 4~5令虫 25日目



⑤ 繭づくり 32日目



⑥ 蛹化 40日目



⑦ 羽化 50日目



⑧ 交尾 52日目



⑨ 産卵 53日目





2020年5月29日(金)

餌となる桑の葉は水洗いし、乾燥させた後に与えます。毛蚕(けご)のうち柔らかい若葉がよいでしょう。

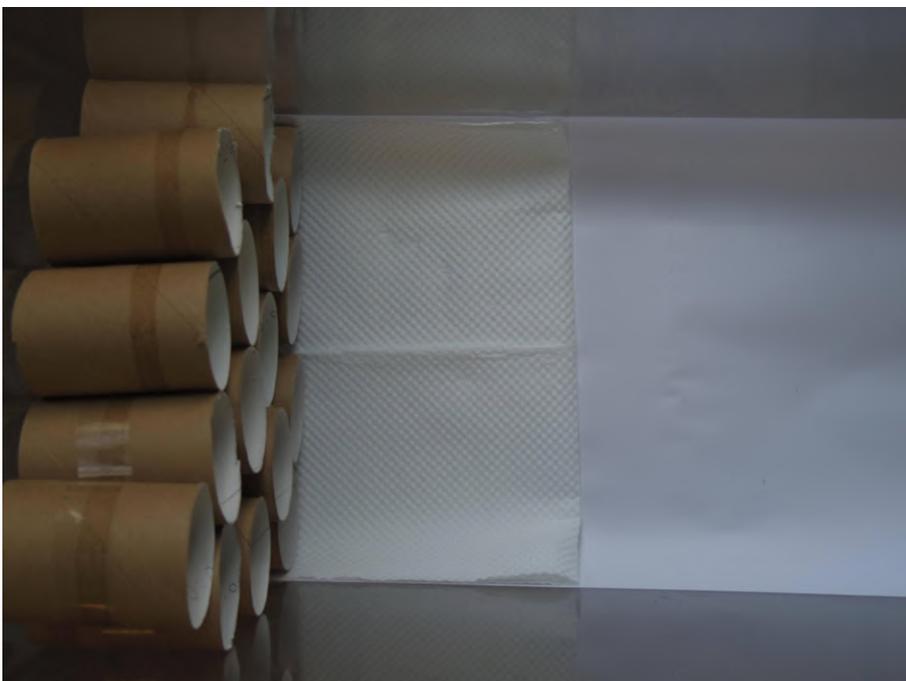
保存は葉っぱとペーパータオルを交互に挟み、適度な水気を残したまま、チャック付ビニール袋に入れます。冷蔵庫内で一か月程度は新鮮な状態を保つ事が出来ます。



2020年6月6日(土)

飼育ケースは成長に合わせて順次大きくしていきます。始めは100均にあるような一番小さなケースでよいでしょう。素材はプラスチックのほか、贈答用の菓子の空き箱や段ボールでもよいです。逃げ出すことはないのだから蓋は必要ありません。

掃除は底に敷き紙をし、食べ残しと糞をその敷き紙と一緒に処分します。



2020年6月11日(木)

入口が4cm四方程度の空間を作っておくとその中で繭づくりを始めます。トイレットペーパーの芯を半分に切り、飼育頭数以上の数を用意しておきます。

繭づくり前には排尿するのでペーパータオルを準備します。



2020年6月12日(金)

カイコは5令虫の約7日間で生涯で食べる葉の約8割を消費します。エサを沢山食べる分、糞も大粒のものが大量に出てきます。この糞は蚕砂(さんしゃ)という生薬として用いられています。血液の流れを良くしたり、神経痛や関節痛、胃痛に効くとされていますので、興味のある方は試してみてください。乾燥させたものを急須に入れ、湯を注ぎお茶のように飲むそうです。



2020年6月16日(火)

カイコは糸を吐き始めると繭づくりの前に尿を出します。水分を出しスリムな体から蛹になるのでしょうか。カイコの排尿はこの時と羽化直後の二度だけで、幼虫の時は一切しません。そのため飼育中は葉っぱの食べ残しを適切に処理すれば臭いはありません。



2020年6月16日(火)

こちらは、もう直ぐ繭づくりを始める幼虫です。このようなカイコを熟蚕(じゅくさん)と言い、お尻が黄色っぽくなり、表皮全体が透けてきています。カイコがこのようなになったら繭づくりのための部屋【簇(ぞく)】に行くよう促します。



2020年7月8日(水)

羽化は雄が先でその2~3日後、雌が出てきます。雄は雌が出てくるのを静かに待っているのですが、いざ雌が出てくると、雌のお尻から出るフェロモンを触角で感知し大騒ぎになります。左端の羽根が乾いてない蛾が雌です。この後、雄どうしの争いが始まりましたが、闘争というより早いもの勝ちの「椅子取り合戦」的な争いでした。



2020年7月8日(水)

交尾の時間が長くなるとメスが弱り、産卵できなくなるので、2時間ほどで割愛します。割愛はぴったりくっついて離れないので、ネジリとるように別れ離します。



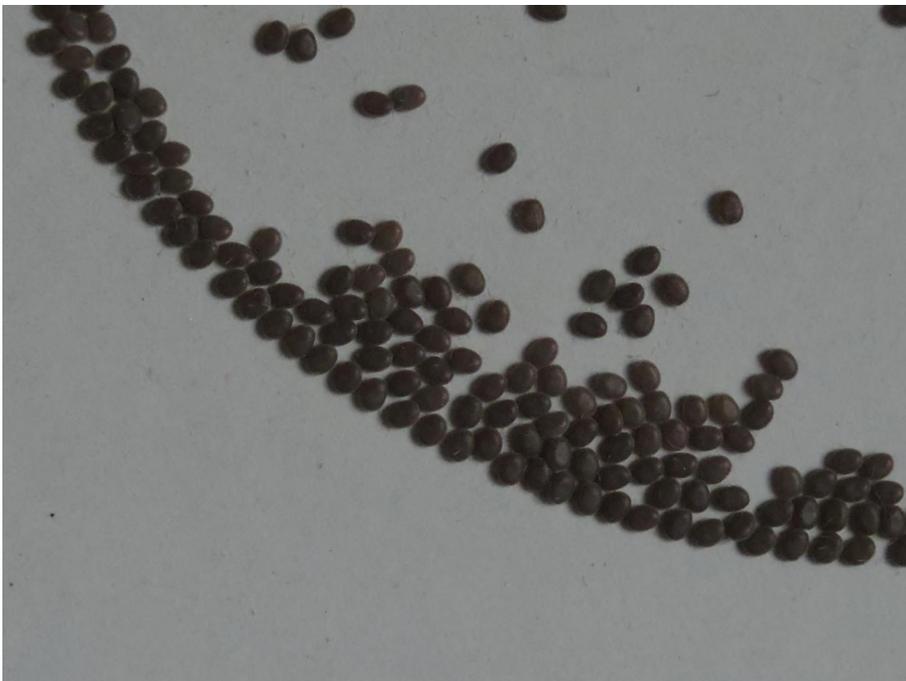
2020年7月8日(水)

産卵場所は囲いがないと適当なところに産み付けられてしまうので、プリンやゼリーの空き容器を 사용합니다。



2020年7月8日(水)

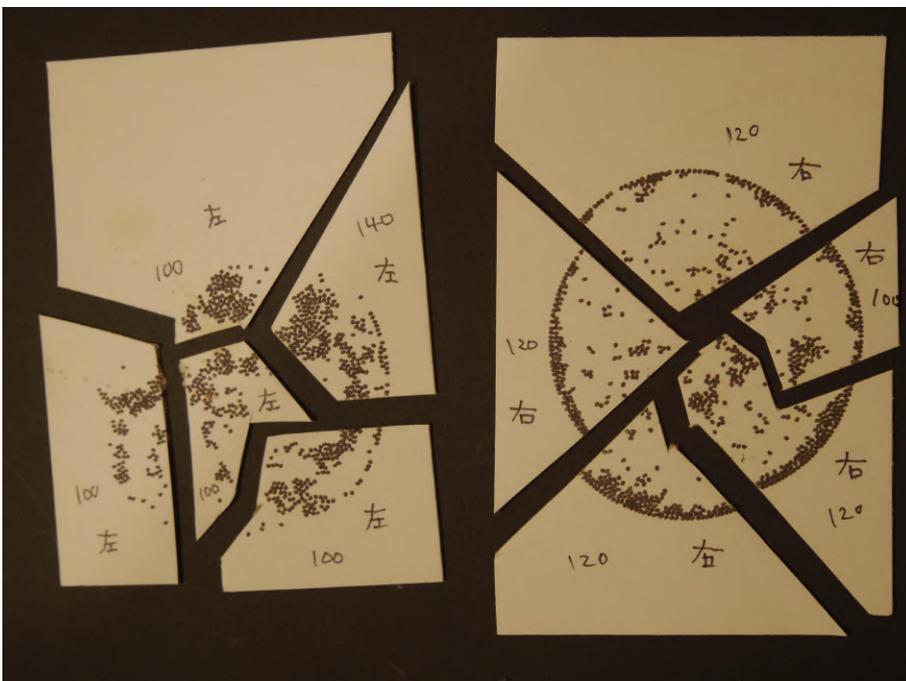
羽化したあとの繭玉の中の様子です。小さく灰色のものは幼虫から蛹になる時の抜殻、大きく茶色のものは蛹から羽化したときの抜殻です。



2020年7月12日(日)

カイコの卵には二種類あり、2~3日経過後、色が変わらず黄色いままの卵は非休眠卵で産卵後10~14日で孵化します。

色が変わり黒い卵は休眠卵で越冬した後、孵化します。今回は、全て色が変わりました。



2020年8月1日(土)

蚕種の越冬保存は詳細な方法が確立されています。一般家庭で行うには無理がありますが、出来る限りの事をし、二世の飼育に挑戦してみたいと思います。

種紙を蚕種100~120粒ずつに分割し、様々な保存環境で越冬を試してみます。